

## 自己評価及び外部評価結果

### 【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	1493400079	事業の開始年月日	平成18年12月1日
		指定年月日	平成18年12月1日
法人名	株式会社ウイズネット		
事業所名	グループホームみんなの家・横浜上瀬谷		
所在地	( 〒246-0006 ) 神奈川県横浜市瀬谷区上瀬谷町56-4		
サービス種別 定員等	<input type="checkbox"/> 小規模多機能型居宅介護	登録定員	名
	<input checked="" type="checkbox"/> 認知症対応型共同生活介護	通い定員	名
		宿泊定員	名
		定員計	18名
		ユニット数	2ユニット
自己評価作成日	平成24年8月27日	評価結果 市町村受理日	平成24年10月31日

※ 事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先	
----------	--

### 【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

中々、外出が難しいこともあり、ボランティアの方々にお越しいただき交流をしています。色々な方と接する事で、ご利用者様の刺激になったり楽しみが増えればと考えています。  
又、毎月行事を企画したり、季節に応じたはり絵等をご利用者様と作成をし季節を感じていただけるようにしています。  
これからも、ご利用者様が笑顔で過ごせるよう考えて参りたいと思います。

### 【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	ナルク神奈川福祉サービス第三者評価事業部		
所在地	神奈川県横浜市西区南浅間町8-22-207		
訪問調査日	平成24年9月11日	評価機関 評価決定日	平成24年10月8日

### 【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点(評価機関記入)】

<p>&lt;事業所の優れている点&gt;</p> <p>◇地域との親密な関係の構築 自治会に加入し、年2回のゴミ拾いに利用者も参加し、また、年6回地域の方々を招いて地域懇談会を開催するなど、利用者と地域の方々との交流を深め、利用者に喜ばれている。</p> <p>◇利用者の笑顔と安心 職員は事業所の理念 『笑顔・気くぱり・安心』 の実践に努め、利用者一人ひとりに丁寧に接し、職員との会話の中で笑顔が見られ、利用者が安心して過ごしている様子うかがわれた。</p> <p>&lt;事業所が工夫している点&gt;</p> <p>◇入浴時間の弾力的対応 年々利用者のADLが下がり、入浴の時間が掛かるようになったため、午後のみに行っていた入浴を、午前中にも行うことにした。</p>
---

### 【地域密着型サービスの外部評価項目の構成】

評価項目の領域	自己評価項目	外部評価項目
I 理念に基づく運営	1 ~ 14	1 ~ 7
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援	15 ~ 22	8
III その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	23 ~ 35	9 ~ 13
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	36 ~ 55	14 ~ 20
V アウトカム項目	56 ~ 68	

事業所名	グループホームみんなの家・横浜上瀬谷
ユニット名	2U

V アウトカム項目		
56 職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○	1, ほぼ全ての利用者の
		2, 利用者の2/3くらいの
		3. 利用者の1/3くらいの
		4. ほとんど掴んでいない
57 利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1, 毎日ある
		2, 数日に1回程度ある
		3. たまにある
		4. ほとんどない
58 利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	1, ほぼ全ての利用者が
		2, 利用者の2/3くらいが
		3. 利用者の1/3くらいが
		4. ほとんどいない
59 利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている。 (参考項目：36, 37)	○	1, ほぼ全ての利用者が
		2, 利用者の2/3くらいが
		3. 利用者の1/3くらいが
		4. ほとんどいない
60 利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)	○	1, ほぼ全ての利用者が
		2, 利用者の2/3くらいが
		3. 利用者の1/3くらいが
		4. ほとんどいない
61 利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安な区過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1, ほぼ全ての利用者が
		2, 利用者の2/3くらいが
		3. 利用者の1/3くらいが
		4. ほとんどいない
62 利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている。 (参考項目：28)	○	1, ほぼ全ての利用者が
		2, 利用者の2/3くらいが
		3. 利用者の1/3くらいが
		4. ほとんどいない

63 職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1, ほぼ全ての家族と
		2, 家族の2/3くらいと
		3. 家族の1/3くらいと
		4. ほとんどできていない
64 通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1, ほぼ毎日のように
		2, 数日に1回程度ある
		3. たまに
		4. ほとんどない
65 運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	○	1, 大いに増えている
		2, 少しずつ増えている
		3. あまり増えていない
		4. 全くいない
66 職員は、生き活きと働けている。 (参考項目：11, 12)	○	1, ほぼ全ての職員が
		2, 職員の2/3くらいが
		3. 職員の1/3くらいが
		4. ほとんどいない
67 職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1, ほぼ全ての利用者が
		2, 利用者の2/3くらいが
		3. 利用者の1/3くらいが
		4. ほとんどいない
68 職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1, ほぼ全ての家族等が
		2, 家族等の2/3くらいが
		3. 家族等の1/3くらいが
		4. ほとんどいない

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	「笑顔・気配り・安心」を理念とし会議等で確認し合い、業務に反映出来るよう努めている。	・理念は職員と共に作ったもので、事業所内に掲示し、職員は日々確認している。 ・職員は出勤時には先ず担当ユニット内利用者一人ひとりに声をかけ、「笑顔・気配り・安心」の実践に心がけている。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	自治会に加入している。地域のお祭りや掃除等に参加している。又、ホームで行事を行う際は、チラシを作成し地域住民に配布している。	・自治会に加入しており、年2回行われる自治会のゴミ拾いに、職員と共に利用者も参加している。 ・地域の人々に事業所を知ってもらい、訪問し易い雰囲気をつくるため、地域懇談会を年6回企画し、近隣の住民を招待しオルガン演奏会などを行っている。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	ホームに気兼ねなく立ち寄れるような環境作りに努めています。		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	平成24年5月と8月に運営推進委員会を行いました。	・近隣の同一法人の事業所と合同で年4回開催している。 ・地域包括支援センターから同世代の老人によるお話しボランティアを紹介され、事業所で依頼する計画をしている。	
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	区役所へ相談等に出向いています。	・瀬谷区役所障害高齢支援課と認知症の入居者が受診するのに適した病院の相談等を行っている。 ・地域包括支援センターから入居相談が頻繁にある。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束ゼロ推進を掲示しています。 月1回ホーム内にて勉強会を開催しています。又、安全対策委員会等での研修報告を行っています。	・毎月の全体会議で勉強会を行っている。 法人本部の主催する安全対策委員会に毎回1～2名の職員が参加し、参加した職員が会議の報告をしている。 ・3か月毎に身体拘束チェックシートでチェックを行い身体拘束のないことを確認している。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	安全対策委員会等での研修報告を行っています。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	勉強会を行っています。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	説明時その都度確認させていただきながら契約をしています。又、入居後も疑問等あれば都度対応させていただいています。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	2ヶ月に1回の家族会やご面会時に意見や要望を都度伺っています。又、玄関に意見箱を設置し対応出来る事については迅速に対応させていただいています。	・家族会を2か月毎に開催している。当日は利用者が食べたいおかず一品を厨房に追加を依頼し、家族と共に食事している。 ・家族会や面会時に出された意見は記録し全体会議で取り上げ、検討している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	個人面談やスタッフ会議にて業務に対する意見等を聞き、一緒に考え解決するように努めています。	・全体会議、ユニット会議を月に1度開催している。 ・年々利用者のADLが下がり、入浴の時間が掛かるようになったため、午後のみに行っていた入浴を午前中にも行うことを検討し実行に移した。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	面談をし管理者は面談結果を代表者に報告し給料に反映させています。		
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	勤務調整をし研修に参加しています。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている	同法人との交流で情報交換をしています。又、同業者の主催する研修等にも参加出来る様になっています。		
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	入居前事前調査でご自宅に訪問し困っている事、不安な事等を聞き取り安心して過ごせるよう関係作りに努めています。個々の要望に可能な限り応える様にしています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	遠慮せずいつでも連絡いただけるよう伝えています。又、日程調整をし話し合いの場を設けています。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	今一番必要としている支援に対しお話を伺い、サービスが必要な場合には出来るだけ支援させていただきます。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	安心して生活が出来る環境作りを行い、ご利用者様の気持ち・意思を尊重し、自然体で生活が出来る環境作りに努めています。		
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	手紙や電話等で連絡を取り、お互いの情報を共有しホームでのイベント等に参加していただいている。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	気軽に来ていただけるようご家族様には伝えています。又、希望があれば電話で話したり手紙を書いたり出来る環境を作っています。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・利用者の依頼により、瀬谷駅前の馴染みの床屋が出前サービスに来ている。</li> <li>・利用者は、毎年年賀状を出している。自分で出来ない利用者には職員が手を添えて支援している。</li> <li>・携帯電話を持っている利用者があり、自室で電話をしている。</li> </ul>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	ご利用者様一人一人の趣味等を把握し関わりあえるきっかけ作りをしています。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	契約終了時でも、必要に応じて今後の生活に必要な情報提供や相談を受けたりしています。		
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	会話の中から思いを引き出し、希望・意思を把握するようにしています。その後、ご家族様とご利用者様との話し合いの場を設けています。	・表現困難者には家族から得た様々な情報をもとにして、表情・仕草から思いを読みとっている。 ・利用者の意向を汲み取り、その結果を記録保管し、日々の介護に役立てている。。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入居前事前調査での聞き取りや関わりの中で、情報を伺い職員と共有しています。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	生活記録・健康記録等ご利用者様の状態を把握し、その方に合った趣味等を継続していただける環境作りをしています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイディアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	ご家族様とご利用者様のご意向を伺い、職員とカンファレンスを開催後介護計画書を作成しています。	・ユニット会議ではフロアスタッフが一丸となってチームでケアを行う大切さを確認している。 ・ケアプランは3か月毎に見直しを行っている。居室担当者が家族の意見をまとめてカンファレンスにあげ、ケアプランに反映している。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	ご利用者様個人の申し送りを作成し、職員同士が共有し反映させています。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々にも生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	ご家族様やご利用者様に対し出来る限り対応し、外出等の個別対応も行っています。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	運営推進会議で包括センター他事業所との交流を図っています。自治会に加入し地域の住民とゴミの収集をしています。		
30	11	○かかりつけ医の受診診断 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	ご家族様のご希望により、入居前から診察を受けているかかりつけ医に受診されている方もあります。又、ご利用者様の状況に合った医療機関での診察を支援しています。	・家族の同意を受けて、利用者全員が事業所の協力医と契約をしている。 ・通院支援は原則として家族が行うが、家族が出来ない場合は事業所職員が対応する。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	医療連携看護師が週1回勤務しています。必要な場合、その場で処置をしていただいています。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入居前にご家族様に重度化した場合の説明をさせていただきます。医療関係との連携をとり対応出来る体制作りを努めています。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	入居時に、説明をしご家族様の希望を伺い、医療・職員・ご家族様とひとつのチームとなり支援していきます。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・重度化の場合は、家族・事業所・担当医で話し合いをして方針を決めている。</li> <li>・協力医の24時間往診が可能になり、看取り体制が十分となった。今年5月と8月に看取りを行った。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・過去2回の看取りは貴重な経験と幸いです。今後のために看取りへの心がけ、メンタルケア等の更なる職員研修の検討を期待します。</li> </ul>
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	マニュアルを基に対応。 地域の消防署の協力の元、応急救護の訓練を行っています。		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	年2回避難訓練を実施しています。その内の1回は、地域の方や自治会の方に参加していただき連携をとれる体制作りをしています。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・家族会の日に、夜間想定訓練を行い家族が参加した。中瀬谷消防署が避難訓練に立ち会ってくれる。</li> <li>・災害備蓄品は水・缶詰を用意している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・災害備蓄品は水・缶詰の他に、ライフラインが切断された時の対策として、水を注げば調理できる米、レトルト食品、防寒具等、緊急に必要な物の整備の検討を期待します。</li> </ul>

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	生活歴・既往歴に配慮し、ご利用者様のペースに合わせた声かけを心掛けています。	・職員は採用時研修で生活歴・既往症を理解し、その重要性を学び、人生の先輩である利用者を理解し、敬意をもって接している。 ・フロアーミーティングでも話し合い、職員間で言動に注意し合い介護に当たっている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	ご利用者様が、何を望んでいるかを日々の関わりの中から引き出し、自己決定出来るよう支援しています。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	ご利用者様の生活スタイルを大切にし、伝えやすい環境を作っています。可能な限りご利用者様のペースに対応出来る勤務体制を作成しています。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	月1回、地域的美容室の方に来ていただき、ご利用者様のご希望を伝え散髪をしていただいています。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	食事の盛り付け・片付け等を職員と共に行っています。又、職員と一緒に食事を致します。時々、出前や希望の食事をすすめる事もあります。	・食材の選定・調達・献立・調理・栄養管理まで業者に委託している。 ・利用者の希望により行事には、献立を変更している。 ・出来る人は盛り付けや食器拭きをし、入所前を思い出し積極的に、楽しそうに取り組んでいる。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事形態は、一人一人に合った内容を提供しています。食事量・水分量は、1日を通して確認をしています。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	歯科医師・歯科衛生士の指導の基に、毎食後口腔ケアの声かけをしています。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	排泄パターンを把握し、ご利用者様一人一人に合った排泄介助をしています。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・昼間は紙パンで夜間はオムツを使用し、職員は排泄パターンを把握し、無理のない誘導で失敗回数を減らす効果を上げている。</li> <li>・利用者の中には家族の希望で、日中は布パンツにし、夜間はポータブルトイレを使用している人もいます。</li> <li>・自立している人は4名である。</li> </ul>	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	食事量・水分量を把握し、適度な運動の声かけ等行っています。医療関係者にも報告し指示をいただいています。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている	ご利用者様のご希望を出来るだけ考慮し入浴をいただいています。又、入浴を拒む方に対しては、安心して入浴していただける様工夫しています。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・入浴は3日に1回で原則午後にしていましたが、利用者のADL低下に伴い入浴時間がかかるため、午前中の中の入浴も行っている。希望があればその他の日の入浴も受け入れている。</li> <li>・入浴を好まない利用者には、無理強いせず、本人の希望で時間や担当者を変えるなど、きめ細かい支援を心がけている。</li> </ul>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	一人一人の生活リズムを大事にし眠れない場合は、一緒に過ごしたり安心出来る環境作りをしています。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	薬剤情報をファイルし、ご利用者様がどんな薬を服用しているか職員が把握できるようにしています。又、薬剤師が薬を届けて下さる際に指導をいただいています。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	無理のない範囲で職員と共に出来る事を行っていただいています。又、イベント等企画し楽しみや気分転換をいただいています。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	ご利用者様の体調や気分添って、外出・外食等支援させていただきます。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日常的に天気の良い日は、車椅子の人も共に近くを散歩したり、買い物に出かけている。</li> <li>・パン屋の出前販売があるときは、外気浴をかねて駐車場に椅子を出しくつろいでいる。</li> <li>・高齢になり遠出はせず、イベントなどもお祭りや桜見物・近くのぶどう園に散歩に出かけている。</li> </ul>	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	ホームにヤクルト・移動パン屋の販売で好きな物を購入していただいています。又、必要に応じてデパート等への買い物をしています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	電話の子機を利用していただきお話ができる環境作りをします。手紙は出来るだけご入居者様に書いていただけるよう支援しています。		
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	共同空間は毎日掃除をしています。季節に合った物をご利用者様と一緒に作成し飾らせていただいています。	<ul style="list-style-type: none"> <li>共有空間は広く、明るく、清潔である。適度な温湿度・照明・換気に配慮し、快適な空間になっている。</li> <li>壁面には季節感のある手作りの飾り物や、写真・作品が飾られ、居心地の良い住環境造りに配慮している。</li> </ul>	
53		○共用空間における一人ひとりの居場 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	フロアのTV前にソファを置き、他ご入居者様と共有できる空間作りをしています。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	愛着のある家具や使い慣れた生活用品を配置し、安心・安全に生活していただけるようにしています。	<ul style="list-style-type: none"> <li>利用者・家族が居室担当の職員と相談し、使い慣れた好みの調度品・テレビ・家族の写真・趣味の小物などを持ち込み、自宅に近い雰囲気、安心して過ごせるように配慮されている。</li> </ul>	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	安全を第一に考え、その時に応じて工夫をし配置替えをしています。		

# 目 標 達 成 計 画

事業所名

みんなの家：横浜上瀬谷

作成日

平成24年10月24日

## 【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目 標	目標達成に向けた具体的な取組み内容	目標達成に要する期間
1	1	ホーム内にて行事を企画しても、地域の参加者が少ない。	多くの方に参加していただき、グループホームという場所を知っていただく。	行事の際はチラシを作成して近隣に配る。 外で会ったときは挨拶をしっかりと行う。 地域の行事になるべく参加してゆく。	1年
2	2	災害備蓄品が現在、水缶詰のみしかない。	他食品の購入や備品の準備。	何を購入するか検討し、予算を立て購入してゆく。	6ヶ月
3					
4					
5					

注) 項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入すること。

注) 項目数が足りない場合は、行を追加すること。